

# 日本の財政について

～大学生と一緒に考える～



▲財務部職員による説明の様子(沖縄国際大学)

財務部では、地域の皆さまへ、財務省や金融庁の施策をお伝えするため、出前講座を実施しています。今号では、沖縄国際大学と琉球大学で行った財政授業についてご紹介します。

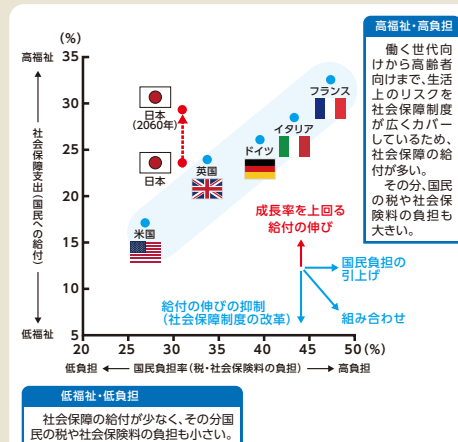
11月30日に沖縄国際大学(1年生106名)、12月8日に琉球大学(2・4年生82名)で、財政の現状や課題等を説明する財政授業を行いました。

授業では、最初に財政の役割と、令和4年度予算を例に歳出(支出)と歳入(収入)の構成について説明し、1990年代以降、歳出の伸びに歳入が追い付かず「公債金」という借金に依存していること、要因は少子高齢化の進行により社会保障関係費が大きく伸びているこ

と、その結果、日本の借金残高は、主要先進国の中で最も高い水準にあることを説明しました。

続いて、少子高齢化や財源の不足といった状況に対応した社会保障とすため、現在、「社会保障と税の一体改革」を行っており、消費税率引上げによる増収分は全て社会保障に充て、待機児童の解消や保育無償化など子育て世代のためにも充当し、「全世代型」の社会保障に転換していることを説明しました。また、あるべき給付と負担のバランスについて、諸外国との比較を行いながら、どの国も国民が望ましいと思う形を目指していること、日本でも引き続き国民全体で議論していく必要があることを説明しました。最後に、より良い社会にするためには、18歳になった皆さんが「こんな日本になつたらいいな」というご自身の思いや考えを、選挙を通じて意思表示していくことが大切であることをお伝えしま

主な国の給付(社会保障支出)と負担(国民負担率)のバランス(GDP比) [2015]



(出所) OECD "National Accounts", "Revenue Statistics", 内閣府「国民経済計算」等

▲講義資料の一例



▲財務部職員による説明の様子(琉球大学)

した。

事後アンケートでは、「財政が身近なものだと感じる事ができた」「いろんな学校でこの授業をやって若者に現状を理解してほしい」「選挙に参加していきたいと思う」等の感想が寄せられました。

財務部の出前講座については、左記連絡先までお気軽にお問い合わせください。

お問合せ先  
財務部財務課(地域連携担当)

098-866-0091